



## 平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年11月9日

上場会社名 日本ピグメント株式会社  
 コード番号 4119 URL <https://www.pigment.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 加藤 龍巳  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部担当 (氏名) 今井 信一  
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月9日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 03-6362-8801

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	22,884	4.6	500	64.0	505	28.0	328	24.2
30年3月期第2四半期	21,884	8.7	305	△12.9	394	1.5	264	40.5

(注)包括利益 31年3月期第2四半期 260百万円 (△77.4%) 30年3月期第2四半期 1,152百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	208.97	—
30年3月期第2四半期	168.24	—

(注)当社は平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第2四半期	31,563	14,350	42.7
30年3月期	31,077	14,231	42.8

(参考)自己資本 31年3月期第2四半期 13,481百万円 30年3月期 13,286百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	—	—	80.00	80.00
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	80.00	80.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,800	△0.9	1,080	15.1	1,100	0.4	700	3.3	445.77

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期2Q	1,575,899 株	30年3月期	1,575,899 株
② 期末自己株式数	31年3月期2Q	5,862 株	30年3月期	5,812 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期2Q	1,570,060 株	30年3月期2Q	1,570,394 株

(注)当社は平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明.....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項.....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が続くなか、設備投資や個人消費の持ち直し等を背景に緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、米国の保護主義政策に端を発する貿易摩擦の懸念が拡大するなど先行きは不透明な状況にあります。

このようななか当社グループにおいては、国内での樹脂コンパウンド需要および樹脂用着色剤需要の堅調を背景に良好な業況推移となっております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループの売上高は228億8千4百万円（前年同期比4.6%増）、経常利益は5億5百万円（前年同期比28.0%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億2千8百万円（前年同期比24.2%増）となりました。

当社グループのセグメント別の業績は次のとおりであります。

## 「日本」

国内部門別の概況として樹脂コンパウンド部門は、自動車産業向けエンジニアリングプラスチックを中心に、堅調に推移し、生産効率の改善もあり部門営業利益は昨年を上回りました。

樹脂用着色剤部門は、一部のフィルム関連および繊維関連等が比較的堅調に推移し、部門営業利益は昨年を上回る結果となりました。

最後に、加工カラー部門は、自動車産業向けは底堅かったものの建材産業向け等が伸び悩み、想定を下回りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は138億9千3百万円（前年同期比9.5%増）、営業利益は3億6千万円（前年同期比81.3%増）となりました。

## 「東南アジア」

東南アジアは、前期に続き家電産業向けの受注が好調であったものの、自動車産業向けで伸び悩んだことから全体としては販売減となりました。当第2四半期連結累計期間の売上高は、86億4千4百万円（前年同期比2.4%減）となりましたが、為替変動並びに販売構成の影響もあり営業利益は1億4千万円（前年同期比13.2%増）となりました。

## 「その他」

その他は、中国での日系自動車関連の受注の回復もあり、当第2四半期連結累計期間の売上高は3億4千6百万円（前年同期比2.8%増）となり、営業損失は927千円（前年同期営業損失1千8百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間の総資産は315億6千3百万円と前期末の310億7千7百万円に比べ4億8千5百万円の増加となりました。

資産のうち流動資産は149億9千4百万円と前期末の153億2千1百万円に比べ3億2千6百万円の減少となりました。この主な要因は現金及び預金が8千9百万円、受取手形及び売掛金が7億1千2百万円それぞれ減少、製品が3億2千3百万円、原材料及び貯蔵品が1億5千7百万円それぞれ増加したことなどによるものです。固定資産は165億6千8百万円と前期末の157億5千6百万円に比べ8億1千1百万円の増加となりました。この主な要因は有形固定資産が4億9千5百万円、投資有価証券が1億8千5百万円それぞれ増加したことなどによるものです。

負債合計は172億1千2百万円と前期末の168億4千5百万円に比べ3億6千7百万円の増加となりました。負債のうち流動負債は125億9千8百万円と前期末の130億9千万円に比べ4億9千2百万円の減少となりました。この主な要因は支払手形及び買掛金が4億1千3百万円減少したことなどによるものです。固定負債は46億1千4百万円と前期末の37億5千4百万円に比べ8億5千9百万円の増加となりました。この主な要因は長期借入金が7億3千2百万円増加したことなどによるものです。

純資産合計は143億5千万円と前期末の142億3千1百万円に比べ1億1千8百万円の増加となりました。この主な要因は利益剰余金が2億2百万円、その他有価証券評価差額金が1億9千4百万円それぞれ増加し、為替換算調整勘定が2億2千7百万円、非支配株主持分が7千7百万円それぞれ減少したことなどによるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期における通期の業績予想につきましては、平成30年5月11日に公表しました業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,241,218	2,151,221
受取手形及び売掛金	7,964,305	7,251,591
製品	2,473,286	2,796,433
原材料及び貯蔵品	2,255,327	2,412,685
その他	387,729	383,326
貸倒引当金	△300	△300
流動資産合計	15,321,566	14,994,958
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,571,749	2,498,878
土地	3,871,007	3,852,851
その他(純額)	2,790,087	3,376,922
有形固定資産合計	9,232,844	9,728,652
無形固定資産	212,310	246,833
投資その他の資産		
投資有価証券	5,612,245	5,797,397
その他	712,989	809,486
貸倒引当金	△14,265	△14,265
投資その他の資産合計	6,310,970	6,592,619
固定資産合計	15,756,125	16,568,105
資産合計	31,077,691	31,563,063
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,230,707	6,817,250
短期借入金	3,734,593	3,773,145
未払法人税等	160,440	162,858
賞与引当金	190,329	216,967
その他	1,774,898	1,627,963
流動負債合計	13,090,969	12,598,185
固定負債		
長期借入金	2,334,772	3,067,678
繰延税金負債	936,308	1,052,870
退職給付に係る負債	420,043	430,473
その他	63,662	63,662
固定負債合計	3,754,786	4,614,684
負債合計	16,845,755	17,212,869

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,481,159	1,481,159
資本剰余金	1,033,980	1,033,980
利益剰余金	9,290,916	9,493,412
自己株式	△17,847	△18,022
株主資本合計	11,788,208	11,990,530
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,988,144	2,182,439
為替換算調整勘定	△323,955	△551,429
退職給付に係る調整累計額	△166,093	△139,948
その他の包括利益累計額合計	1,498,095	1,491,061
非支配株主持分	945,631	868,602
純資産合計	14,231,936	14,350,194
負債純資産合計	31,077,691	31,563,063

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	21,884,735	22,884,678
売上原価	20,077,344	20,834,480
売上総利益	1,807,391	2,050,198
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	290,151	318,275
人件費	588,602	599,012
賞与引当金繰入額	66,111	65,069
退職給付費用	36,729	32,748
その他	520,660	534,536
販売費及び一般管理費合計	1,502,253	1,549,642
営業利益	305,137	500,556
営業外収益		
受取利息	1,393	1,668
受取配当金	39,628	41,554
持分法による投資利益	55,830	10,044
受取保険金	7,271	28,318
為替差益	23,740	-
その他	37,136	31,474
営業外収益合計	165,001	113,061
営業外費用		
支払利息	47,936	53,889
為替差損	-	28,613
その他	27,480	25,759
営業外費用合計	75,417	108,263
経常利益	394,721	505,354
特別利益		
固定資産売却益	574	1,134
特別利益合計	574	1,134
特別損失		
固定資産除売却損	933	1,562
特別損失合計	933	1,562
税金等調整前四半期純利益	394,361	504,926
法人税、住民税及び事業税	112,301	152,374
法人税等調整額	5,763	24,871
法人税等合計	118,064	177,245
四半期純利益	276,296	327,680
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	12,086	△422
親会社株主に帰属する四半期純利益	264,210	328,102

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	276,296	327,680
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	673,881	194,295
為替換算調整勘定	△60,262	△392,168
退職給付に係る調整額	39,294	26,575
持分法適用会社に対する持分相当額	222,848	103,869
その他の包括利益合計	875,760	△67,429
四半期包括利益	1,152,057	260,251
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,169,777	321,068
非支配株主に係る四半期包括利益	△17,719	△60,817

## (3)【四半期連結財務諸表に関する注記事項】

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

『税効果会計に係る会計基準』の一部改正(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報 (単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注 2)
	日本	東南アジア	計				
売上高							
外部顧客への売上高	12,693,380	8,854,216	21,547,597	337,138	21,884,735	—	21,884,735
セグメント間の内部 売上高又は振替高	121,699	127	121,826	4,404	126,231	△ 126,231	—
計	12,815,080	8,854,343	21,669,424	341,543	22,010,967	△ 126,231	21,884,735
セグメント利益又は損失(△)	199,044	124,184	323,229	△ 18,091	305,137	—	305,137

(注) 1. 「その他」の区分は、海外事業の内、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報 (単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注 2)
	日本	東南アジア	計				
売上高							
外部顧客への売上高	13,893,125	8,644,877	22,538,002	346,675	22,884,678	—	22,884,678
セグメント間の内部 売上高又は振替高	216,137	—	216,137	68,753	284,891	△ 284,891	—
計	14,109,263	8,644,877	22,754,140	415,429	23,169,570	△ 284,891	22,884,678
セグメント利益又は損失(△)	360,941	140,542	501,483	△ 927	500,556	—	500,556

(注) 1. 「その他」の区分は、海外事業の内、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。